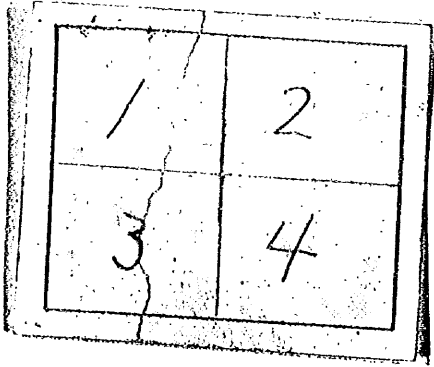


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0235
0236

所 第四四重第六三師團

部隊名 獨立歩兵第七九大隊 (二)

通稱號 陣二九九四

郵便所名

全般概要 二〇、六、中甸、第五作業 大隊編成 二〇、九、二六、瀾滄對岸 二〇、一〇、廿、カンム 駐隊		轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員入制編	隊別	隊長名 ()内は先代を示す 中尉 松本 實 中尉 押野 清次	關入 戰時 人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ迄の變動	入ソノ人員 隊別計	滿洲殘留	收 名
隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中五第												
中尉 前島 雄甫	少尉 宮田 信一郎 少尉 宇津木 大金													
右同	右同	村林大縣 遊双												
右同	右同	屯官 文												
なし	なし	なし												

隊名 獨立歩兵第七九大隊 (二)

通稱號 陣二九九四

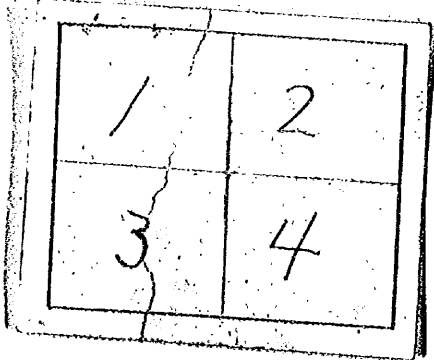
郵便所名

隊中砲兵歩		隊中銃關機		隊中五第		別隊	
中尉 前島 雄甫		少尉 宮田 信一郎 見 上 筆 澤 木 金		中尉 松本 賢 見 上 筆 野 清 次		隊長 名 ()内は先代を不示す	
右 同		右 同		村林大縣遊双		關人 駐屯地	
右 同		右 同		屯官文		戰時 戰時	
なし		なし		なし		戰鬥間の狀況及損耗	
						終戦後の人員變動	
						作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
						入「ソ」人員 除別計	
						滿洲 殘留	
						收容所名	
						所人 死亡	
						滿洲 より領 計	
						歸還人員 狀況不明 者數	

大正
 1107 第 11 号
 1107 第 11 号
 1107 第 11 号

	隊 中 砲 兵 歩	隊 中 銃 騎 機	隊 中 五 銃
	中尉 前島 雄甫	少尉 宮田 信一郎 少尉 宮田 信一郎 少尉 宮田 信一郎	大尉 松本 英
	右 同	右 同	大尉 松本 英
	右 同	右 同	大尉 松本 英
	なし	なし	なし

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第四四軍第六三師團

部隊名

獨立歩兵第一三七大隊 (一)

通稱號

陣一九二五

郵便所名

全般概要

轉入
轉出

員人編

隊長名

戰鬥間
の状況及損耗

駐屯地

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソソの變動

隊別計

入ソソ人員

滿洲残留

收

一八、五、一、編成下令
一八、六、一三、編成完結
(於部出)
二〇、六、一六、北支保定より滿州東部地区に移駐
第二、五中隊は主力北支現置し他部隊に轉属
陸野隊、在々本隊は現置の差幹人員に各中隊より轉属し新に編成す
二〇、八、一、二、開戦に伴ひ奉天地区防衛の爲編成改發文官屯に同
二〇、八、一四、文官屯にて終戦を知るも引續き同地に駐屯
此の間離隊三名程度
二〇、八、一八、文官屯にて完結

一九九、一八
兵少一五
隊 四二名
自一九、五、一
一九、一、二
一九、一、二
歩兵六六隊
一〇三名
一九、五、二
歩兵一三七六
一七名

1283名

別隊	隊長名	人員	駐屯地	戰鬥間 の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソソの變動	隊別計	入ソソ人員	滿洲残留
大 隊 本 部	大尉 登谷 彦雄 副官 宇野 專藏 中尉 白井 清胤 少尉 笹井 勇次 少尉 堀内 安藏 准尉 小宮 尚徳 少尉 増田 第一 少尉 小林 秀夫	約60	屯家郷 屯官文	なし		第四作業大隊			
第 一 中 隊	(大尉 吉住 達夫) 中尉 原 一三 見士 加藤 英雄 中尉 村山 英雄 少尉 島田 一則	約120名	右 同	なし		第七作業大隊			
第 二 中 隊	(大尉 小林 芳雄) 中尉 鹿野 清 見士 安藤 清 少尉 石井 浩賢	約120名	右 同	なし		第四作業大隊			
第 三 中 隊	(大尉 磯 好一) 少尉 熊田 正雄 見士 名古屋 浩二 大尉 北 倉 義典 少尉 藤原 正 少尉 藤原 正	約120名	右 同	なし		第七作業大隊			

マカリオ第三收容所
(二、三機銃)
歩兵砲中隊

1283名				員人制編	部隊名
三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大	別隊	獨立歩兵第一三七大隊(一)
(大尉 磯好一) 少尉 熊田 正雄 見士名古屋清二郎 大尉 比企 善美 少尉 藤原 五郎 大尉 藤原 五郎	(大尉 小林 芳雄) 中尉 鹿野 清 見士 安藤 清	(大尉 吉住 達夫) 中尉 原 一三 見士 加藤 英雄 中尉 島田 一三	大尉 釜谷 義雄 副官 宇野 專 中尉 宇野 專 少尉 白井清胤 少尉 笹井重久 少尉 堀内 隆 准尉 小宮 裕信 少尉 小宮 裕信 少尉 小宮 裕信	()内は先代を示す	隊長 名 隊員 数 開入 数 駐屯地 戦闘間の状況及損耗 終戦後の人員變動 作業大隊より入ソノ迄の變動 入ソノ人員 満洲残留 收容所名 所 死亡 満洲より領 計 状況不明者 数
約120名	約980名	約120名	約60		陣一九二五 郵便所名
右 同	右 同	右 同	屯家 悠	平 時 駐 屯 地	
右 同	右 同	右 同	屯官 文	戦 時 駐 屯 地	
なし	なし	なし	なし	戦闘間の状況及損耗	
				終戦後の人員變動	
				作業大隊より入ソノ迄の變動	
				入ソノ人員	
				満洲残留	
				收容所名	
				所	
				死亡	
				満洲より領	
				計	
				状況不明者 数	

一八、三、一、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇

約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名	約113名
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

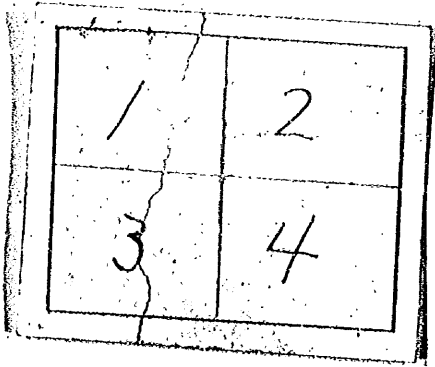
1283名

第六本家部	第一隊中	第二隊中	第三隊中	第四隊中
<p>大尉 公谷 磯吉 中尉 寺野 一太郎 少尉 三井 三郎 見主 小宮 重太郎 見主 小宮 重太郎 見主 小宮 重太郎</p>	<p>(大尉 吉住 謙次) 中尉 原 謙夫 見主 加藤 一三 見主 加藤 一三 見主 加藤 一三</p>	<p>(大尉 小林 芳雄) 中尉 鹿野 芳雄 見主 安藤 清 見主 安藤 清 見主 安藤 清</p>	<p>(大尉 磯 好一) 少尉 熊田 正雄 見主 名古屋 清三郎 大尉 北倉 善美 大尉 北倉 善美 大尉 北倉 善美</p>	<p>(大尉 宮腰 正吉) 少尉 濫谷 謙一郎 見主 宮田 正雄 見主 宮田 正雄 見主 宮田 正雄</p>
約60	約120名	約120名	約980名	約120名
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
なし	なし	なし	なし	なし

第七作業大隊	第四作業大隊	第七作業大隊	第四作業大隊	第七作業大隊
--------	--------	--------	--------	--------

隊 中 四 第	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 本 本
(大尉 宮腰正徳) 少尉 渡谷進郎 見士 宮田 正雄 加藤 一三	(大尉 磯好一) 少尉 熊田 正雄 見士 名古屋浩二郎 大尉 北倉 善美 少尉 藤原 隆 見士 脇野 孝章	(大尉 小林 芳雄) 中尉 鹿野 芳雄 見士 安藤 清 見士 藤原 浩	(大尉 吉住 達夫) 中尉 原 一三 見士 加藤 一三 大尉 島田 一三	(大尉 三浦 隆一) 少尉 佐藤 隆一 見士 佐藤 隆一 見士 佐藤 隆一 見士 佐藤 隆一
約120名	約120名	約980名	約120名	約60
右 同	右 同	右 同	右 同	電報部
右 同	右 同	右 同	右 同	電文室
なし	なし	なし	なし	なし
第四作業大隊	第七作業大隊	第四作業大隊	第七作業大隊	第七作業大隊
			マカリオ第三收容所 (二、三機銃) 歩兵砲中隊	マカリオ第三收容所 (二、三機銃)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0221A
0221A

第四四軍第六三師團 部隊名 獨立歩兵第一三七大隊(二) 通稱號 陣一九二五 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人額編	
<p>二〇、九、上旬、作業第四大隊(本部、二四、五中隊)作業第七大隊(一、三機銃、歩兵砲中隊)編成</p> <p>二〇、九、中旬、奉天出發、出陣時第七作業大隊は解散し第四、六大隊に編入出發す</p> <p>北送中</p> <p>死亡(三名) 第四作大より</p> <p>死亡(二名) 第六作大より</p> <p>死亡(一名) 第六作大よりあり</p> <p>奉天に於る入院三名</p>					
隊別	第五中隊	機關銃中隊	步兵砲中隊	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗
隊長名	(内は先代を示す) 少尉 佐々木功恵 見士 嵯澤 千代	(大尉 沃部 英雄) 少尉 猪股 英雄 見士 多田 志吾	(大尉 齊藤 久雄) 少尉 山口 久雄 見士 唐鎌 宗作 見士 柳澤 光夫	屯家郷 屯富文	戰鬥間の狀況及損耗
開入					
戦時					
戦後					
終戦後の人員變動					
入ソノ人員	第七作業大隊	第七作業大隊	第七作業大隊		
入ソノ人員	第四作業大隊				
隊別計					
滿洲殘留					
收	ウソノ				

マカリオ收容所
マカリオ收容所
マカリオ收容所

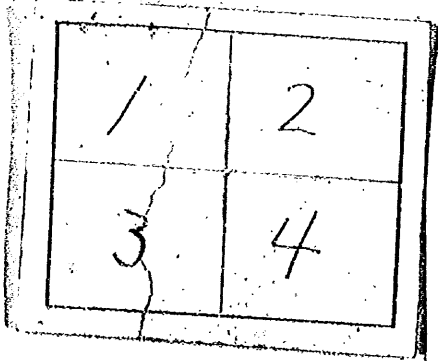
部隊名 獨立歩兵第一三七大隊(二) 通稱號 陣一九二五

郵便所名

編制人員		隊別		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		入「ソ」人員		滿洲殘留		收容所		歸還人員		状況不明者數	
隊長名	(内は先代を示す)	開入時	平時	戰鬥時	駐屯地	入「ソ」人員計	滿洲殘留	收容所名	所入員	死亡	滿洲より	ソ領より	計	者數			
第五隊	少尉 佐々木功憲 見土 睦澤 千代		屯家郷	屯富文		第四作業大隊		ウソツイ收容所									
機關銃中隊	(大尉 沃部 猪股 英雄) 少尉 多田 忠吉		右 同	右 同		第七作業大隊		マカロオ收容所									
步兵砲中隊	(大尉 齋藤 久雄) 少尉 山口 人雄 見土 唐鎌 宗作		右 同	右 同		第七作業大隊		マカロオ收容所									

	隊中砲兵歩	隊中銃騎機	隊中三銃
	(大尉 齋藤) 少尉 山口 久雄 見士 唐鎌 宗作 小隊 杉本 美夫	(大尉 沃部) 少尉 猪股 英雄 少尉 志音	少尉 佐々木 孝彦 見士 藤原 千代
	右 同	右 同	砲家部
	右 同	右 同	砲官文
	第七作業大隊	第七作業大隊	第七作業大隊
	マカリオ收容所	マカリオ收容所	マカリオ收容所

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0243
0246
0247
0248
0249
0250

第四軍第六三師團 部隊名 歩兵第六七旅團司令部

通稱 陣一八八六

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別		駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソシ迄の變動	隊別計	滿洲殘留
一八、五、一、編成下令 一八、七、一、編成完結 (於北支支台) 二〇、六、一〇、關東軍 下となり聯合軍通過に移送 (八、一二) 二〇、八、一二、開戦によ り奉天地区防衛の爲通過軍 奉天に移動(八、一四) 二〇、八、一五、即地にて 終戦 二〇、八、二〇、奉天にて 終戦 二〇、八、二三、奉天郊外 要路に駐屯 二〇、八、二五、憲兵小隊 及行李を調歩二〇五六隊に 配属 二〇、九、一、北陸に赴任 二〇、九、三、 第七(主力) 第八(警備行李) 作業大隊編成 二〇、九、一五 奉天近黒河移入ソシ		自一八、六、三 至二〇、五、三 〇 歩歩八〇大隊 五二名	二〇、七、上旬 調歩一中 人員不明	166名 (7)	隊長名 ()内は先代を不示 旅團長 大佐 橋場 帝次 副 中尉 澤田 誠治	關入 戦員 1	平時 戰時 遼 通 天 奉	なし	約120 325名	約百五十名 約百五十名 約百五十名 獨立歩兵第二十 大隊長)	獨立歩兵第二十 大隊長)	
坂田					中尉 澤田 誠治							
右同	右同	右同	右同	右同	中尉 澤田 誠治							
右同	右同	右同	右同	右同	中尉 澤田 誠治							

0245
0246
0247
0248
0249
0250

第四四軍第六三師團 部隊名 歩兵第六七旅團司令部

通稱、號 陣一八八六

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人部編	隊別	隊長名	戦時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	隊別計	滿洲残留	
一八、五、一、編成下令 一八、七、一、編成完結 (於北支邊合) 二〇、六、一〇、關東軍 下となり登台發進遂に移駐 (八、一二) 二〇、八、一二、開隊に上 り奉天地區防衛の爲通過遂 奉天に移駐(八、一四)		自一八、六、三 至二〇、五、三 歩歩八〇大隊 五二名 自二〇、三、三 至二〇、三、二 六 歩一八大隊 より三六名	二〇、七、上旬 調野一中 人員不明	旅團長 大佐 橋場 帝木 中尉 澤田 誠	約120 325名	遠通 天奉	戰鬥間の状況及損耗 なし	終戦後の人員變動 約七本隊 約八本隊 約百五十名 約百十名	作業大隊より入「ソ」迄の變動 入「ソ」人員 滿洲残留	獨立歩兵第二十 獨立歩兵第二十	約百十名 獨立歩兵第二十	約百十名 獨立歩兵第二十	約百十名 獨立歩兵第二十	約百十名 獨立歩兵第二十
二〇、八、一五、 二〇、八、二〇、 二〇、八、二三、奉天郊外 養馬廠に收容 二〇、八、二五、警兵小隊 及行李を歩歩二〇五大隊に 配属 二〇、九、一、北陵に收容 二〇、九、三、 第七(主力) 第八(警備行李) 作業大隊編成 二〇、九、一五 奉天發基河經入「ソ」		166名 (7)		坂田	右同 右同 右同 右同 右同 右同	約120 325名	遠通 天奉	戰鬥間の状況及損耗 なし	終戦後の人員變動 約七本隊 約八本隊 約百五十名 約百十名	作業大隊より入「ソ」迄の變動 入「ソ」人員 滿洲残留	約百十名 獨立歩兵第二十	約百十名 獨立歩兵第二十	約百十名 獨立歩兵第二十	

部隊名 歩兵第六七旅團司令部

通稱號 陣一八八六

郵便所名

156名 (7)							出	編
號	暗	信	通	務	底	器	別	隊
			坂田				隊長名 (内は先代を示す) 大佐 橋場 幸木 中尉 澤田 豊治	
	約120		325名				戦 闘 人 時 員	
	右 同		右 同		右 同		駐 屯 地 平 時	送 通
	右 同		右 同		右 同		戦 時	天 奉
戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗								
終 戦 後 の 人 員 變 動								
作業大隊より 入「ソ」人員 満洲残留 收 容 所 死 亡 満洲より ソ領 計 者 数								
第七大隊 約百五十名 第八大隊 約百十名 独立歩兵第二十四大隊長 独立歩兵第二十五大隊長 入「ソ」人員 満洲残留 收 容 所 死 亡 満洲より ソ領 計 者 数								
イルグライフ ブカチャク								

部隊名

歩兵第六七旅團司令部

通稱 陣一八八六

郵便所名

156名 (7)					出	編	別	隊
號	階	信	通	務	旅	團	別	隊
			坂田				隊長名 (内は先代と示す) 旅團長 大佐 藤野 帝次郎	
	約120		325名				開入 時員	
	右同	右同	右同	右同	右同	右同	駐屯地	
	右同	右同	右同	右同	右同	右同	天奉	
<p>戦闘間の状況及損耗</p> <p>終戦後の人員變動</p> <p>作業大隊より 入ソソ返の變動</p> <p>入ソソ人員</p> <p>満洲残留</p> <p>收容所名</p> <p>所入</p> <p>死亡</p> <p>滿洲ソソ領</p> <p>計</p> <p>者</p> <p>狀況不明</p> <p>数</p>								
<p>イムクイフク</p> <p>ブカチキ</p> <p>チタ地区</p>								

（區隊長四十一年四月二十一日）
（區隊長四十一年五月十二日）
（區隊長四十一年五月十五日）
（區隊長四十一年五月十八日）
（區隊長四十一年五月二十一日）
（區隊長四十一年五月二十四日）
（區隊長四十一年五月二十七日）
（區隊長四十一年五月三十一日）
（區隊長四十一年六月三日）
（區隊長四十一年六月六日）
（區隊長四十一年六月九日）
（區隊長四十一年六月十二日）
（區隊長四十一年六月十五日）
（區隊長四十一年六月十八日）
（區隊長四十一年六月二十一日）
（區隊長四十一年六月二十四日）
（區隊長四十一年六月二十七日）
（區隊長四十一年六月三十日）

一八、七、一、自派兵隊
 (3) 交遊(4)
 二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊
 (2、11)
 二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊

二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊

二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊
 二〇、八、一、自派兵隊

二〇、九、一、北境に教養
 二〇、九、一、北境に教養
 二〇、九、一、北境に教養

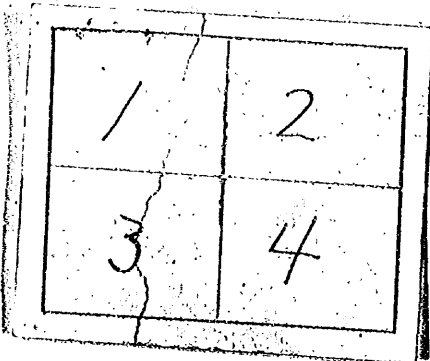
二〇、九、一、北境に教養
 二〇、九、一、北境に教養
 二〇、九、一、北境に教養

156名 (7)

幸	行	備	警	號	暗	信	通	務	度	署	支	分	局	通	送	先
								坂田			中	大	中	支	分	局
											山	前	本	島	田	
約100		約60			約120				325名		丑	須	梅	良		
	右	同			右	同		右	同		大	賀	大			
	右	同			右	同		右	同		雄	信	男	郎	忠	秀
	右	同			右	同		右	同		右	同			右	同

二〇、九、一、北境に教養
 二〇、九、一、北境に教養
 二〇、九、一、北境に教養

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0251
0252
0253
0254

第四軍第六二師團 部隊名 獨立歩兵第二四大隊(一) 通稱號 陣四二八五 郵便所名

全般概要	轉入	轉出	員人割編	部隊別	隊長名	開入		駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ變動	入ソノ人員	隊別計	満洲残留
	十九年以降	十九年以降				時員	平時							
一四、一、一四、編成下令 一八、六、三〇、編成完了 (松北隊) 二〇、六、一三、北支隊 二〇、八、一三、奉天地區 同地にて武解、爾後平穩に 進行の爲支隊を向ト 二〇、九、一六、支隊編成 同地にて武解、爾後平穩に 進行の爲支隊を向ト 二〇、九、一六、奉天地區 河野入一ツ	二〇、六、九 歩兵一〇三 歩兵一〇三 歩兵一〇三 歩兵一〇三	二〇、六、九 歩兵一〇三 歩兵一〇三 歩兵一〇三 歩兵一〇三	1283名	第一隊 第二隊 第三隊	(内は先代を不す) 大尉 國光 少尉 フカツ 曹長 牧野 同 小牧 曹長 安藤 兵 増田清雄 主 増田清雄			右 同 右 同 右 同						

部隊名 獨立歩兵第二四大隊(一)

通稱號

陣四二八五

郵便所名

別隊		隊長名	開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	入ソノ人員	満洲残留	收容所	歸還人員	状況不明者数
大	本	大尉 國光	孝	遼通	なし		入ソノ人員		收容所名	死亡	
少	尉	副官 フカシ							ブカチセ	約六割	
曹	長	同 牧野									
兵	同	小牧									
曹	長	安藤									
兵	同										
部	本	中尉 井上隆夫		右同							
隊	中	中尉 武田武吉		右同							
第	二										
中	三	中尉 太田孝藏		右同							
第	一										

二〇、八、三〇、北段下敷	二〇、九、三、第七作樂大	二〇、九、一、九、奉天豐盛	二〇、八、一、三〇、北段下敷	二〇、九、三、第七作樂大	二〇、九、一、九、奉天豐盛	可移入「ソ」
--------------	--------------	---------------	----------------	--------------	---------------	--------

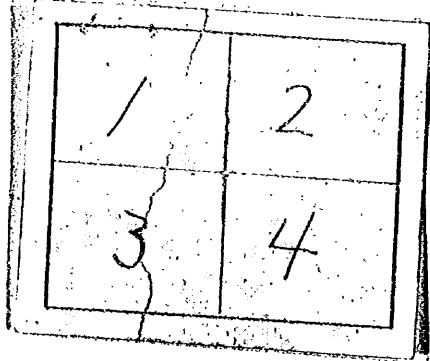
1283名

第六部	第一隊	第二隊	第三隊	第四隊
大尉 三浦 幸 中尉 三浦 幸 少尉 三浦 幸 少尉 三浦 幸 少尉 三浦 幸 少尉 三浦 幸	中尉 井上 清 中尉 井上 清 中尉 井上 清 中尉 井上 清 中尉 井上 清 中尉 井上 清	中尉 武田 大 中尉 武田 大 中尉 武田 大 中尉 武田 大 中尉 武田 大 中尉 武田 大	中尉 太田 九 中尉 太田 九 中尉 太田 九 中尉 太田 九 中尉 太田 九 中尉 太田 九	中尉 佐々木 鐵 中尉 佐々木 鐵 中尉 佐々木 鐵 中尉 佐々木 鐵 中尉 佐々木 鐵 中尉 佐々木 鐵

右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同

隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	六本隊
中尉 佐々木 健三 少尉 山口 正 少尉 林 忠	中尉 太田 義成	中尉 武田 武吉	中尉 井上 源次	大工 一 彦 小工 〆 〆 炊 司 安 司 医 生 〆 〆 伝 言 〆 〆 主 手 〆
右 同	右 同	右 同	右 同	遊 逸
右 同	右 同	右 同	右 同	司 書 女

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

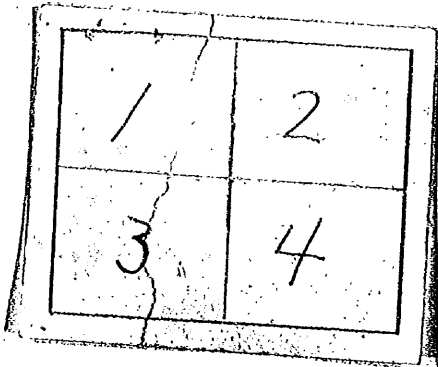
0258
0257

第四四軍第六三師團 部隊名 獨立歩兵第二四大隊(二) 通稱號 陣四二八五 郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人制編	
十九年以降		十九年以降					
隊別		隊長名		開人		駐屯地	
第十九年以降		()内は先代を示す		時員		時	
隊中砲兵歩		隊中銃關機		隊中五第		通	
中尉 大城		中尉 新村 繁夫 少尉 山口 少尉 林 政男 曹長 石川				屯官文	
右同		右同		通		時	
右同		右同				時	
						戰鬥間の状況及損耗	
						終戦後の人員變動	
						作業大隊より入ソ返の變動	
						隊別計	
						満洲残留	
						収容	
						名	

	隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中三第
	中尉 大城	中尉 新村 繁夫 少尉 山口 少尉 林 曹長 石川 政男	
	右同	右同	送還
	右同	右同	忠告文

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0259
0260

0261
0262

第四四軍第六三師團

部隊名

獨立歩兵第二五大隊(一)

通稱號

陣四二八六

郵便所名

全般概要

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員人編

隊長名

駐屯地

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソの變動

入ソ人員

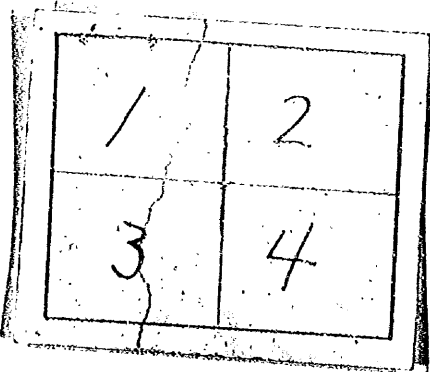
滿洲殘留

<p>一四、一、一四、編成下全 一八、五、一、七ヶ中隊改 編下全 一八、六、三〇、七ヶ中隊 編成完結(中支隊別) 現地召集者各中隊六、七名 計約五〇名</p> <p>二〇、六、中知、北支河北 省より運送した移駐</p> <p>二〇、六、末、部隊主力は 六月末より開戦時迄熱河省 討伐隊参加中</p> <p>二〇、八、九、開戦に依り 奉天に轉進せんとするも第 三師に於て奉天を以て、引續き 奉天に向ふ</p> <p>二〇、八、一六、奉天貨物 庫に到着同所にて收養さる</p> <p>二〇、八、二〇、貨物庫に て兵糧運送中</p> <p>二〇、九、二、作業第七大 隊(一部)</p> <p>作業第一大隊(主力) 編成</p>			
<p>一九、一、二〇 一九、一、二〇 一九、一、二〇 四二名</p>			
<p>1283名</p>			
三 第	長 隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 天
<p>中尉 坪井 建三 中尉 神澤 晴人</p>	<p>中尉 石川 和泉 中尉 藤原 徳雄 中尉 杉田 徳樹</p>	<p>中尉 岩田 章 中尉 宮野 浩夫</p>	<p>大尉 眞柄 義致 中尉 中村 三郎</p>
約120名	約120名	約130名	約60名
右 同	右 同	右 同	屯家郷 (中伐討省河熱)
右 同	右 同	右 同	天 奉
同 右	同 右	同 右	自二〇、八、一四(熱河省討伐隊参加)
<p>第八作業大隊</p>			
<p>第七作業大隊</p>			
<p>第七作業大隊</p>			
<p>第八作業大隊</p>			
<p>入ソ人員</p>			
<p>滿洲殘留</p>			

1283名				員人数	部隊名
三第	長隊中二第	隊中一第	部本隊大	別隊	獨立歩兵第二五大隊(一)
中尉 坪井 建三 見長 柳澤 晴人	中尉 石川 和泉 見長 石川 和泉 少尉 石川 和泉 少尉 石川 和泉	中尉 岩田 章 少尉 岩田 章 少尉 岩田 章	大尉 真柄 義教 副官 中村 三郎	()内は先代を不示す	隊長名
約120名	約120名	約130名	約60名	時員	戦時人員
右同	右同	右同	屯家郷 (中伐討省河熱)	平時	駐屯地
右同	右同	右同	天 幸	戦時	戦時
同右	同右	同右	至三〇、八、一四(整河省討伐戦参加)	戦闘間の状況及損耗	
				終戦後の人員變動	
第八作業大隊	第七作業大隊	第七作業大隊		作業大隊より入ソノ迄の變動	
				除別計	入ソノ人員
				滿洲残留	
				收容所名	收容所
				所人	所人
				死亡	死亡
				滿洲より	歸還人員
				領計	領計
				者数	狀況不明

通稱號 陣四二八六 郵便所名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0263
0263
0263

所屬 第四軍第六三師團 部隊名 獨立歩兵第二五大隊(二)

通稱號 陣四二八六

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人制編	
十九年以降		十九年以降					
隊中砲兵歩		隊中銃關機		隊中五第		別隊	
中尉 小早川國平 少尉 藤光治		少尉 赤堀 春雄 少尉 八尋 英雄 少尉 宮澤 智明		中尉 橋本 祥一		隊長名 ()内は先代を示す	
90名		20名		122名		開入 時員	
右 同		右 同		屯家郷 (中伐討省河熱)		駐屯地	
右 同		右 同		天 奉		戦時	
同 右		同 右		自二〇、七、一 至二〇、八、一四 熱河省討伐作戦参加中		戰鬥間の状況及損耗	
						終戦後の人員變動	
第八作業大隊		第八作業大隊		第七作業大隊		作業大隊より 入ソ連の變動	
						隊別 計	
						入ソ連人員	
						滿洲残留	

隊名 獨立歩兵第二五大隊(二)

通稱號 陣四二八六

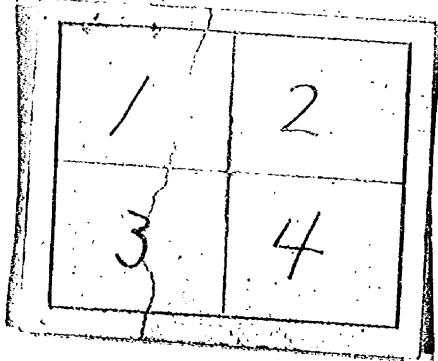
郵便所名

隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中五第	編制人員	別隊
中尉 小早川國平 少尉 藤澤光治	少尉 赤堀 春雄 少尉 八木 文雄 少尉 宮澤 智明	中尉 橋本 洋一	()内は先代を示す	隊長名
90名	20名	122名	戦闘人員	駐屯地
右 同	右 同	屯家郷 (中伐討省河熱)	平時	戦時
右 同	右 同	天 幸	戦時	戦闘間の状況及損耗
同 右	同 右	自二〇、七一 至二〇、八、一四 熱河省討伐作戦参加中	終戦後の人員變動	
第八作業大隊	第八作業大隊	第七作業大隊	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
			隊別	入「ソ」人員
			計	滿洲残留
			收容所名	收容所
			人員	死亡
			滿洲より	歸還人員
			領	計
			者	狀況不明
			数	

	隊中砲兵歩	隊中銃關機	隊中五第
	中尉 小豆川國平 少尉 藤原光治	少尉 赤堀 春雄 見入 家 孝雄 基 庄 隆 智 賢	中尉 藤本 謙一
	90名	20名	122名
	右 同	右 同	定家郷 (中伏討省河熱)
	右 同	右 同	天 幸
	同 右	同 右	三〇、七、一 三二〇、八、一 三三〇、九、一 三四〇、一〇、一
	第八作樂大隊	第八作樂大隊	第七作樂大隊

隊中砲兵歩	隊中銃園機	隊中三第
中尉 小早川國平 少尉 赤堀 春雄	少尉 赤堀 春雄 少尉 八木 友雄 少尉 三浦 智博	
90名	20名	122名
右 同	右 同	定家系 (中伐討省河越)
右 同	右 同	天 奉
同 右	同 右	SHINJO SHIRO MITSUKUNI MITSUKUNI
第八作樂大隊	第八作樂大隊	第八作樂大隊

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0267
0268

第四軍第六三師團

部隊名

獨立歩兵第八〇大隊(一)

通稱號

陣二九九五

郵便所名

0269
0270

全般概要

轉入
轉出

員人編

隊別

隊長名

戰鬥人員

駐屯地

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソ迄の變動

入ソ人員
除別計

滿洲殘留

一四、七、三三、編成下令
二〇、六、中旬、北支より
滿洲通達(木原國)下移駐
二〇、八、一二、奉天地區
防衛の爲木原國發奉天に向
二〇、八、一四、奉天文官
屯留町にて奉命
五轉約二〇名
二〇、八、二〇、文官屯
て武裝解除、爾後平居服に
改容
二〇、九、一、平居服より
東北大學に集結第九作業大
隊編成

自一九、五、二
至一九、九、二
應召四二九名
自一九、一、三
至一九、二、
四
現役五二〇名

1283名

第三	隊中二第	隊中一第	部本隊大	別隊	隊長名	戰鬥人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	入ソ人員 除別計	滿洲殘留
少尉 藤原 源一 少尉 藤原 孝一 少尉 藤原 孝一	金子 少尉 藤原 金吾 少尉 金子 孝一		少佐 山川 吉春 中尉 片倉 敏 准尉 森本 生 少尉 藤原 隆三 少尉 藤原 隆三 少尉 藤原 隆三		(内は先代を示す)		遠通 (國星木) 屯官文					
右同	右同	右同										
右同	右同	右同										

1283名				人員編	出
三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大	別隊	隊
少尉 藤巻利平 少尉 藤原一 少尉 藤原一	金子 少尉 藤原金子 少尉 金子清		少佐 山川 吉春 中尉 片倉 修 准尉 森本 生 少尉 藤原金子 少尉 藤原金子 少尉 藤原金子	(内は先代を不)	隊長名
右同	右同	右同	遠通 (國尾木)	時員	駐屯地
右同	右同	右同	屯官文	戦時	戦時
					戦闘間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より入ソノ返の變動
				隊別計	入ソノ人員
					滿洲残留
			クラスノボルカ	収容所名	収容所
				収容所名	収容所
				死亡	死亡
				滿洲より領	歸還人員
				計	計
				者	狀況不明
				數	數

部隊名 獨立歩兵第八〇大隊(一) 通稱號 陣二九九五 郵便所名

隊中第四第	隊中第三第	隊中第二第	隊中第一第	部本隊六
福永 上尉高野考助 少尉松葉重夫	中尉土屋源一 少尉福永兵一 少尉藤巻利平	金子 少尉藤巻金吾 見上金子考助		少佐 中尉 少佐 少佐 少佐 少佐 少佐
右同	右同	右同	右同	巻通 (裏裏六)
右同	右同	右同	右同	巻宣文

クラスノボルカ

ニラノシノ...